

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



世界の窓

Vol.77 リオのカーニバル

Hello! アレックスです。
今回は、この寒い冬にホットな話題をお届けしようと、地球でちょうど日本の裏側に位置するブラジル・リオデジャネイロ（現在は真夏）の有名なカーニバルについてお話したいと思います。

世界の国々の地域や文化を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！ 案内役は、国際交流員エマ・セイヤーズさんとアレックス・ロザウスキさんです。

皆さんはクリスチアンの友達を持っていますか？ もししたら、四旬節（しじゅんせつ）という慣習を聞いたことがあるかもしれませんね。この四旬節（英語でLent）とはカトリック教徒たちがイースター（復活祭）の40日前から肉を食べない慣習のことを言います。また、多くのクリスチアンは悪い癖や何か不健康なことをイースターまでの間やめたりもします。例えば、テレビを見ることや喫煙などです。この時期はイースターの準備をするために祈りやさんげを行います。ブラジルではイースターのほかにもう一イベントがあります。それはカーニバル（謝肉祭）といい、四旬節の3日前から行われます。カーニバルは、人々が人生の中にある悪いことへ別れを告げる異教徒の祭りに起源があると信じられています。現在、カーニバルは巨大な山車が登場する大規模な祭りで、この4日間でブラジルのビールの年間消費量の80%が飲まれるそうです。

現在のカーニバルは1641年にリオデジャネイロで始まり、最初はパリの仮面舞踏会をまねて始まりました。もともとはヨーロッパの祭りに似ていましたが、1800年代後期にはブラジル独自のイベントになりました。1852年に初めて、打楽器のバンドがパンデイホやタンバリンなどのブラジル楽器を演奏しサンバという音楽が出現しました。現在、リオデジャネイロのカーニバルと一番結びつけられる音楽はやはりサンバです。特に打楽器だけを使うサンバ・バチュカーダが一番人気があります。演奏グループの中には最大100人のメンバーを持つところもあります。

リオデジャネイロの公式なカーニバルパレードの参加者は、すべてサンバスクール escola（エスコーラ）のメンバーです。毎年、エスコーラはそれぞれに演奏テーマや曲を決め、そのテーマにそった山車を作ります。一つのエスコーラは、最大で8



・巨大白鳥の山車

台の山車と1,000人の参加者で構成することができます。皆さんもエスコーラのコスチュームを買えば、そのグループと並んで跳ねたり踊ったりすることができます（ただし公式グループとはロープで分けられています）。コスチュームの値段は最高で8万円しますが、それは自分のコスチュームを買えない公式参加者を手助けするために高い値段になっています。

この公式パレードはサンバデッロームという場所で行われ、4

晩続けて行われます。その後、コスチューム・テーマ・音楽・ダンスの出来で優勝グループが決まります。2010年の優勝はウニドス・ダ・ディジューカというグループで、300点満点のうち299.9点を出しました！ その時のテーマは「秘密」で、74年間で初めて優勝しました。またカーニバルと同時に、ブロッコ (bloco) という非公式のパレードも普通の道路で行われます。参加者は地域の住民で構成



・昨年優勝したディジューカ

され、誰でも参加できる楽しいイベントです。ブロッコでは公式パレードとは違い、ファンクやロックなどいろいろなジャンルの音楽が演奏されます。

リオ以外でも、ブラジルの中には別のスタイルのパレードがあります。バイーア州のカーニバルは4つのテーマの中から一つを選びます。1つ目は「トリオ・エレクトリコ」といい、グループは大きなスピーカーを装備したトラックの荷台で地元の音楽を演奏します。2つ目のテーマは、アフリカに端を発するアフォシェー(afoxe)のリズムを使って演奏することです。3つ目のテーマは、アメリカの西部劇に端を発するネイティブアメリカンのコスチュームを着て演奏することです。4つ目のテーマはアフリカ文化をお祝いする演奏をすることです。

世界中には、ブラジルのカーニバルのようなお祭りがいっぱいあります。毎年夏には東京浅草でも行われ、ロサンゼルス、サンディエゴ、ヒューストン、サンフランシスコなどでも行われます。ニューオーリンズのマルディグラフェスティバルはもともとフランスの文化から始まりましたが、今では独自の巨大なフェスティバルになりました。

皆さん、サンバを聞きながら自分がブラジルにいるところを想像してみてください。外に降り積もった雪を忘れ、暖かく感じることもできるかもしれませんよ。



←2016リオデジャネイロで開催されるオリンピックのロゴマーク